

平成30年（2018年）度

## 事業計画書

自 平成30年（2018年）4月 1日

至 平成31年（2019年）3月31日

平成30年（2018年）3月

一般社団法人日本自動車タイヤ協会

## I. 事業計画基本的考え方

世界の政治や経済を巡る動きの変化は激しく、また変化のスピードも速くなっています。その動きは様々ですが、顕著な流れの一つに国や地域の間での統合と分離のせめぎ合いがあります。特に政治的な側面からは、この傾向が顕著です。一方で経済的な側面からは、統合、さらにはその深化という流れは定着しているのではないのでしょうか。

日本のタイヤ産業はこのような流れの中にあつて、事業活動のグローバル化が着実に進展しています。いうまでもなくタイヤはグローバルな商品です。タイヤに対する世界の人々の期待は大きく、世界のタイヤマーケットは今後とも確実に成長していくことが見込まれます。こうした商品を製造、販売するタイヤ産業のグローバル化は自然な流れであり、また必然の結果ともいえます。

このような認識の下、世界の中で相応の地位を占めるタイヤ製造事業者の団体として、公正、かつ、効率的な世界のタイヤマーケットの発展に貢献したいと考えています。

目を国内に転じれば、国内市場の成熟化と生産体制のグローバル化により、国内のタイヤ生産量が今後大きく伸長することは考え難い状況にあります。しかしながらタイヤの生産や提供が日本の経済や社会に与える影響は依然として大きく、事業者としてその影響の大きさに見合う責任を果たして行く必要があると考えています。

こうした観点から公益法人としての本団体に取り組むべき活動は、従来と変わることはありません。その基軸は「安全」と「環境」です。空気圧管理の必要性や冬用タイヤ装着の重要性に関する啓発等を、安全という視点からこれまで行ってきました。また環境という視点からは、原状回復支援制度による廃タイヤ不法投棄問題の解決やラベリング制度の運用による低燃費タイヤの普及等に注力してきました。

こうした活動を今後とも息長く継続することを通じて、日本の経済や社会の持続的な発展に貢献していきたいと考えています。

## Ⅱ．事業計画概要

### 1. 統計・知財

- ・自動車タイヤ各種統計資料、及び国内需要見通し等の作成
- ・知的財産権に関連する諸テーマの調査、研究

### 2. 規格及び基準

- ・JATMA YEAR BOOK(自動車タイヤの諸元規格)の作成、頒布
- ・各国タイヤ基準認証制度、ラベリング制度等への対応
- ・安全基準の統一や国際機関・海外各国政府及びタイヤ関連諸団体との調整、連携の促進

### 3. 安全対策

- ・「タイヤの日」(4月8日)を中心に空気圧管理を始めとするタイヤの適正使用、適正整備等安全啓発活動の推進
- ・一般道路及び高速道路における路上タイヤ点検の実施
- ・冬道安全走行に関する啓発
- ・損傷タイヤの検査判定及び消費者相談並びに警察当局等の依頼による、検査、鑑定等への協力

### 4. 環境対策

- ・地球環境問題への対応、温暖化対策の推進
- ・3R(リデュース、リユース、リサイクル)の総合的推進及び原状回復支援
- ・タイヤ転がり抵抗低減に関する対応と安全性(ウェットグリップ)の両立
- ・タイヤラベリング制度の運用と低燃費タイヤ等の普及広報

### 5. 通商

- ・各国/地域の通商課題に関する情報収集と情報展開
- ・通商面での各種手続き/制度の円滑化、簡素化に向けて海外各国当局との折衝及び経産省、欧州・米国・アジア各タイヤ業界団体との連携

### Ⅲ. 事業計画

#### 1. 総務委員会

統計調査部会、広報部会、知的財産部会、通商部会を統括。会長、理事会の諮問事項の検討及び総合調整、企画立案及び協会運営事項並びにいずれの委員会にも属さない項目の審議・検討

##### 1-1 統計調査部会（自動車タイヤ各種統計資料、及び国内需要見通し等の作成）

###### ◆ 2018年 自動車タイヤ各種統計資料の作成

（自動車タイヤ生産・出荷・在庫統計／新車用・市販用タイヤ販売実績／原材料消費実績／輸出入通関実績他）

###### ◆ 2018年 自動車タイヤに関する統計年報(季報)の作成

（タイヤ関連指標統計表／自動車タイヤ統計資料／自動車タイヤ需給動向）

###### ◆ 2018年版(2017年実績)「日本のタイヤ産業」原稿の作成

###### ◆ 2018年 自動車タイヤ国内需要年央見直しの作成

###### ◆ 2019年 自動車タイヤ国内需要見通しの作成

###### ◆ 2018年 自動車タイヤ品種別在庫等の調査

###### ◆ 自動車関連データの収集

##### 1-2 広報部会（自動車タイヤの一般広報、適正使用の啓発等）

###### 1) 自動車タイヤの一般広報

◆ ホームページ・JATMAニュース等を通じた業界取組み・活動に関する情報提供及び国際的なタイヤ関係機関の情報確認、適宜国内向け情報発信への協力

◆ 「日本のタイヤ産業2018」（和・英版）のホームページへの掲出

◆ タイヤラベリング制度の周知・広報活動の継続

###### 2) 「4月8日タイヤの日」の啓発活動

◆ 空気圧点検啓発ポスター及びノベルティの作成・配布

◆ 「FACT BOOK」を活用し、メディア配信・PR活動及び、取材対応を実施

###### 3) 自動車タイヤの安全、適正使用等のPR

◆ リーフレット「タイヤを上手にご使用いただくために」を作成・配布し、空気圧管理等の啓発活動を実施

- ◆ 冬用タイヤ装備の訴求・啓発活動の協調対応

#### 4) 協賛等対応

- ◆ 関係機関等主催による環境・交通安全等関連イベントへの協賛
- ◆ 内閣府・日本自動車タイヤ協会連名「春・秋の全国交通安全運動告知ポスター」の作成、協力

### 1-3 知的財産部会

- ◆ 日本及び中国の司法・行政機関等との情報交換、連携・協力
- ◆ 模倣品に関する情報収集・共有化
- ◆ 知的財産権全般に関する情報交換・共有化

### 1-4 通商部会

- ◆ 各種通商問題の情報交換・共有化
- ◆ 各国の貿易問題への対応
  - ・当該当局へのコメント発信、直接折衝
  - ・経済産業省への情報提供、対応の協議と要望
  - ・欧州・米国・アジア、各タイヤ業界団体との連携強化

## 2. 技術委員会

設計、タイヤ基準・認証、タイヤ道路騒音・性能試験、材料規格、タイヤ検査事故防止、の各部会及びタイヤ規格委員会、JATMA等級制度検討委員会を統括し、技術、安全、環境に関する諸事項を管掌する。

### 2-1 設計部会（タイヤの設計に関する諸事項）

- ◆ 日本自動車タイヤ協会規格（JATMA YEAR BOOK）の審議
- ◆ 設計標準化ガイドラインのメンテナンス
- ◆ 新車装着用タイヤに関する諸事項の検討
- ◆ タイヤサイズの標準化及び品種削減等の検討
- ◆ ISO/TC 31 タイヤ関連会議への参画協力
- ◆ 欧州・米国タイヤ工業会との審議の推進

## 2-2 タイヤ基準・認証部会（タイヤの安全基準、環境規制、認証制度等に関する事項）

- ◆ 各国のタイヤ規制への対応（情報収集・分析、折衝）
  - ・自動車基準認証国際化研究センター（JASIC）活動を通じた基準の国際調和の推進
  - ・WTO/TBT会合を通じた折衝への対応
  - ・各国政府機関への訪問・折衝
- ◆ 欧州・米国に加えインド・東南アジア等各国のゴム・タイヤ工業会との連携の推進
  - ・ETRTO/TAL及びWG/UNEC会合への参画
  - ・グローバルな業界間会議への参画
- ◆ 世界統一基準（タイヤGTR）検討への対応
- ◆ 国内におけるタイヤ単体騒音・ウェットグリップ・転がり抵抗規制の継続検討課題への対応
- ◆ 新車用タイヤに係る国内外の法規・認証に関する事項の関連業界との調整・説明

## 2-3 タイヤ道路騒音・性能試験部会（タイヤ道路騒音及びタイヤの性能試験に関する諸事項）

### 1) 騒音

- ◆ 関係官庁及び団体の委員会等への参画協力
  - ・自動車技術会 自動車騒音分科会（ISO/TC43/SC1関連）
  - ・自動車基準認証国際化研究センター騒音分科会（UN/R117関連）

### 2) 性能試験

- ◆ 欧州タイヤ単体規制への対応
  - ・ETRTO 各WG（ウェットグリップ・ウインター・トラクション）への参画
- ◆ ISO/TC31タイヤ試験法関連会議への参画協力

## 2-4 材料規格部会（自動車タイヤの材料規格等に関する諸事項）

- ◆ WBCSD/TIP（World Business Council for Sustainable Development/Tire Industry Project）との情報共有及び必要な協力の実施
- ◆ タイヤ原材料に関連した国内外の動向調査及びその対応
- ◆ ISO/TC45国内審議委員会への参画
- ◆ 人工芝ゴムチップに関する調査（諸外国動向等）

## 2-5 タイヤ検査・事故防止部会（損傷タイヤの検査・判定、適正使用のPR及び講習会の開催）

### 1) タイヤ検査事業

- ◆ 検査事業の充実
- ◆ 自動車用タイヤ等の損傷品に対する検査・判定業務の実施及び警察当局等の依頼による検査・鑑定等の協力

### 2) 事故防止事業

- ◆ 「自動車用タイヤの選定、使用、整備基準」及び他刊行物によるタイヤの適正使用、誤使用防止の啓発
- ◆ 冬道安全走行に関する啓発
- ◆ キャンピングカーユーザーへのタイヤの適正使用に関する安全啓発
- ◆ 路上タイヤ点検の実施
- ◆ 空気充てん作業時の事故防止活動の実施
- ◆ 整備管理者等講習会への協力（講師派遣、教材、資料の作成支援）
- ◆ タイヤパターン登録と「冬用タイヤパターン一覧表」の作成及び各都道府県警察本部への配布
- ◆ 関係官庁・団体からの要請による各種イベントへの参画
- ◆ 後付け装置リコール制度への対応
- ◆ 大型車・車輪脱落事故防止等への対応

## 2-6 タイヤ規格委員会（JATMA YEAR BOOKに関する諸事項）

- ◆ 新サイズの審議とJATMA YEAR BOOKの改正
- ◆ JATMA YEAR BOOK 2019年版の作成（含、英版）
- ◆ タイヤに関する国内外の標準化への協力

## 2-7 JATMA等級制度検討委員会（タイヤラベリング制度の適正運用・管理に関する諸事項）

- ◆ 「タイヤラベリング制度」（JATMA自主基準・平成22年1月運用開始）の適正運用・管理
- ◆ 定期モニタリングの実施

## 2-8 タイヤ転がり抵抗WG

- ◆ 運用基準改訂等の検討及び定期モニタリングの実施

## 2-9 タイヤリコールWG

- ◆ 国土交通省へ損傷等不具合品の検査実績概要を定期的（四半期毎）に報告

### 3. 環境委員会

環境部会、リデュース部会、リサイクル部会を統括、自動車用タイヤに係る環境全般にわたる課題への取組み及び廃タイヤ問題に関する諸事項を管掌

#### 3-1 環境部会（自動車タイヤの環境に関する諸事項）

- ◆ タイヤに関連した環境問題の動向調査及びその対応
- ◆ 地球温暖化防止への取組み
- ◆ 人工芝ゴムチップに関する調査（諸外国動向等）

#### 3-2 リデュース部会（タイヤリデュースの推進）

- ◆ 軽量化、ロングライフ化の推進

#### 3-3 リサイクル部会（廃タイヤの回収・適正処理体制の整備及び法対応）

- ◆ 廃タイヤ適正処理の推進、廃棄物処理法への対応
- ◆ 大口広域利用先への安定供給の維持推進活動
- ◆ 不法集積・不法投棄の状況調査及び原状回復支援制度の運用